

田沼意次侯の命日に法要 ゆかりの平田寺で遺徳偲ぶ



牧之原市を代表する偉人「田沼意次侯」の命日である7月24日、田沼家ゆかりの平田寺(牧之原市大江)において、供養の法要が営まれました。

田沼家の菩提寺は東京都駒込の勝林寺ですが、平田寺は遠州相良藩主に就任した意次侯の庇護を受け香華寺(菩提を弔う寺)となり、火災で焼失した本堂が再建されました。

平田寺の本堂には、田沼家だけが使用した専用の玄関が残されており、当時の威光を感じることが出来ます。また、江戸城内で斬り付けられ亡くなった意次侯の嫡男意知を供養するため、当時の領民が建てた供養塔も見ることが出来ます。

法要は、意次侯の位牌を安置する御霊屋で営まれ、竹中智厚住職の読経に続いて参列者が順番に焼香し、牧之原市の礎を築いた意次侯の遺徳を偲びました。

また、意次侯が江戸幕府の老中として対策にあたった「浅間山の大噴火」や「天明の大飢饉」と、現在の新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の大災害を重ね合わせ、国難克服と早期終息を祈願しました。

菩提寺の勝林寺でも法要 中興の祖、意次侯の功績偲ぶ

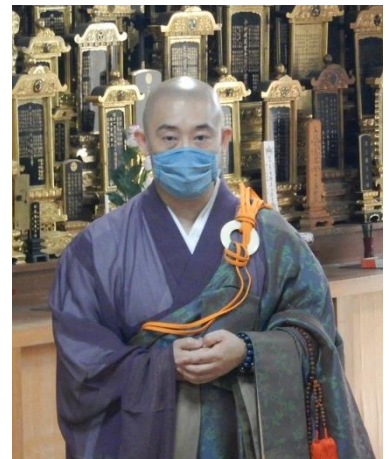


田沼意次侯の命日である7月24日、田沼家菩提寺の勝林寺(東京都駒込)でもご供養が行われました。

窪田充栄住職が意次侯の墓所と位牌に向かい読経し、遺徳を偲びました。

勝林寺の中興開基とされる意次侯との関係は、意次侯の父意行が埋葬された時からとされ、以来、田沼家の菩提寺として庇護を受け、意次侯が老中となった絶頂期には、大規模な造営が行われました。

コロナ禍において、人の往来は容易ならない状況ではありますが、これからも意次侯の御縁で結ばれる勝林寺(江戸)と牧之原市(相良藩)との交流を大切にしていきたいと思えます。



平田寺の竹中智厚住職

「地域の礎を築いた先人
年に一度はお参りを」

平田寺住職の竹中智厚さんは法要に際し、「地域の礎を築いた先人に想いを馳せ、年に一度の命日は、多くの方にお参りをしていただきたい」と語ってくれました。

在りし日の意次侯を偲び、ゆかりの寺院や文化財などを巡ってみてはいかがでしょうか？

「田沼街道」の道程と成立の背景 調査・研究の冊子を発刊

人の往来と物流が活発化
遠州相良藩に繁栄もたらす

2019年の田沼意次侯生誕300年を記念し、地元における意次侯の功績の一つである「田沼街道」（東海道藤枝宿から相良を結ぶ約28キロ）について、あらためて道程をたどるとともに、街道の整備、成立に至る社会的な背景などを考察し、一冊の報告書にまとめました。

調査・考察に使われた、江戸・明治期の古地図や当時の古文書なども紹介しています。

報告書は、街道沿線の市町図書館や牧之原市内の小中学校などに寄贈されたほか、一般の方には、一冊500円にて販売しています。これを契機に、意次侯を顕彰する気運を一層高めるとともに、「田沼街道」を観光や歴史資源として活用してまいります。

【仕様】A4サイズのカラー印刷、全42ページ



田沼意次侯生誕300年記念事業実行委員会

好評販売中



(1) 湧橋（新橋川）から大江まで
田沼街道の起点は、新橋川河口にある湧橋（新橋）です。その歴史は、寛永4（1727）年、新田藩家臣によってこの場所に初めて築造が開始されたことに始まります。湧橋を渡った新田街道は、駿河河口を流れる大江川に入り、川沿いを歩きました。しかし、寛永15（1738）年、新田藩が一時没落し、川沿いに建てられた堤防が崩壊したため、その後は、東九河川に属する新田街道を築き、高い堤防で新田地区に囲われました。

田沼意次侯生誕300年記念事業実行委員会
田沼意次侯生誕300年記念事業実行委員会

<購入方法>

●窓口購入

場所：牧之原市史料館（牧之原市相良 275-2） 電話：0548-53-2625
時間：午前9時～午後4時 ※休館日は月曜日（祝日の場合は開館）

●郵便購入

冊子代金と郵送料を現金書留にて、牧之原市役所観光課まで送付ください。後日、冊子と領収書を郵送します。

郵送料：1冊 250円、2冊 390円、3～5冊 580円

送付先：〒421-0592 牧之原市相良 275 牧之原市役所観光課 宛

「田沼意次侯銅像」の台座を寄贈

関係者により目録の贈呈
建立実現に向け大きく前進

2019年の田沼意次侯生誕300年を記念して実行委員会が取り組んでいる「田沼意次侯銅像」建立事業に対し、(株)牧之原石材様（牧之原市細江）から台座部分を寄贈いただけることになり、7月17日、牧之原市役所相良庁舎において、関係者による目録の贈呈が行われました。

寄贈にあたり、代表取締役の影山 晃さんは、「石は未永く残るもの。地域のために当社の技術で貢献できれば」と想いを語ってくれました。

募金の目標金額1千万円のうち、7月27日現在の総額は542万円であり、この寄贈により実質的にあと250万円ほどで銅像建立が可能となりました。

建立実現に向かって大きく前進しました。これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、引き続き、ご協力をよろしくお願い致します。



牧之原市史料館前に建立が予定されている「田沼意次侯銅像」のイメージ図



募金総額の状況など、意次侯に関する情報はこちらから！

<http://okitsugu.com/>

田沼意次侯銅像募金 目標金額：1,000万円
7/27時点の募金総額：5,426,007円

多くの皆様のご支援、ご協力をお願いいたします！

<https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/site/kanko/7481.html>